

(仮称)屋代スマート IC の新規事業化について

令和5年9月8日、国土交通省から「(仮称)屋代スマートインターチェンジ^{*1}」の新規事業化の決定が発表されました。

【市長コメント】

本日、国土交通省からスマートインターチェンジの新規事業化箇所が発表され、(仮称)屋代スマートインターチェンジの新規事業化が決定しました。

本事業は、上信越自動車道に本線直結型スマートインターチェンジを新設することにより、産業の促進と物流の効率化をはじめ、新たな高速道路へのアクセスルート確保による災害時における復旧活動の迅速化や救命救急医療への支援、観光振興、地域住民の利便性向上など、市内全域に波及する様々な整備効果が期待できるものであります。

この度の事業化決定は、平成28年から計画検討・調整を重ねた結果がようやく実を結んだものであり、大変うれしく思います。これまで多大なお力添えをいただいた国土交通省、長野県、東日本高速道路株式会社をはじめ、すべての関係機関及び市民の皆様に深く感謝申し上げます。

本スマートインターチェンジによる新たな人・モノ・文化の流れを地方創生・地域活性化につなげてまいりますので、早期供用開始に向け、引き続きお力添えをいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和5年9月8日
千曲市長 小川修一

また、9月22日のプレスリリースのとおり、国土交通大臣より上信越自動車道と市道反町東西線との連結が許可されましたので、長野国道事務所長から千曲市長へ「連結許可書^{*2}」の伝達を下記のとおり行います。

〈連結許可書の伝達式〉

【開催日時】 令和5年9月29日(金) 13:30～

【開催場所】 千曲市役所 4階 庁議室

【出席者】 千曲市長、長野国道事務所長、東日本高速道路株式会社 長野工事事務所長

連結許可後は、地域住民の皆様のご理解ご協力を賜りながら、千曲市と東日本高速道路株式会社が事業分担し、詳細設計・用地補償・埋蔵文化財発掘調査・工事など具体的な事業を進めてまいります。

※1 スマートインターチェンジの名称は仮称であり、正式な名称は、地元や利用者のご意見等も踏まえて決定されます。

※2 連結許可とは、国土交通大臣が高速自動車国道法に基づき連結許可申請者である千曲市に行う許可行為です。市道を高速道路に連結する場合には、国土交通大臣の許可が必要となります。

本件に関する問い合わせ先

千曲市企画政策部 地域開発推進室 開発推進係（室長）青木 猛治（担当者）伊藤 孝雄
電話(代表)026-273-1111(内線 4123) メールアドレス kaisui@city.chikuma.lg.jp